



学校便り 琢磨

令和5年度 第11号 R5.7.20 三豊市立詫間小学校

保護者アンケート（全体）

大変お忙しい中、アンケートに回答いただきありがとうございました。

保護者アンケート（集計結果）経年の肯定的返答の比較

番号	評価項目	R3.6	R4.6	R5.6	前年との差
①	楽しい学校	96.6%	96.2%	96.0%	-0.2%
②	あいさつ	92.1%	92.0%	92.8%	0.8%
③	なかよしの友	98.0%	96.2%	96.2%	0.0%
④	家庭読書	60.6%	61.2%	59.1%	-2.1%
⑤	交通マナー	94.9%	94.8%	94.5%	-0.3%
⑥	安全意識	89.6%	88.6%	90.2%	1.6%
⑦	基本的な生活習慣	86.5%	87.2%	91.2%	4.0%
⑧	豊かな心	95.2%	97.3%	95.6%	-1.8%
⑨	分かりやすい授業	87.4%	88.7%	87.7%	-1.0%
⑩	少人数指導	97.6%	97.3%	97.5%	0.2%
⑪	理解ある先生	96.5%	94.2%	93.6%	-0.7%
⑫	相談的な先生	94.9%	93.8%	95.2%	1.5%
⑬	給食の味	94.3%	94.1%	95.1%	1.0%
⑭	便りの講読	89.6%	84.6%	87.5%	2.9%
⑮	学校参観の機会	90.6%	88.1%	97.5%	9.4%
⑯	学校の話題	97.4%	95.0%	97.6%	2.6%
⑰	情報発信	98.5%	96.7%	94.6%	-2.1%
⑱	安全安心な環境	99.1%	97.3%	97.7%	0.4%
⑲	情報公開	70.0%	60.5%	68.8%	8.3%

全19項目中、15項目において肯定的返答が90%を超えております。本校の教育活動に関して、概ね評価いただけているものと考えており、大変ありがたく存じます。特に、「安全意識」や「基本的な生活習慣」が90%を超えるなど、家庭でのご協力のおかげであると深く感謝申し上げます。また、学校参観の機会につきましては、コロナ禍以前の状況に戻つつあることに加え、「昼休み芸能・自慢大会」の公開等もあり、高い評価をいただけたものと思います。本校のホームページも、保護者の皆様をはじめ多くの方に閲覧いただいておりますが、まだ、ご覧になったことがない方は、「詫間小学校」で検索いただき、ぜひご覧いただけたら幸いに存じます。ほぼ毎日更新しております。

課題は、毎年下がり続けている「家庭読書」です。「23が60読書運動」の継続はもちろんですが、何らかの対策を講じる必要があると強く実感しております。早急に対策チームを組織し、取組を検討してまいりたいと考えております。

保護者アンケート（自由記述）

自由記述は、特定の学級や個人に関する内容については掲載しておりません。また、同様の意見・質問に関しましては、勝手ながらまとめて掲載させていただきます。

- 友達や上級生との交流、校長ボランティア、昼休み芸能・自慢大会など、子どもの主体性や個性を大切にしている教育活動をしている。
- 上級生が、下級生の面倒をよく見ているし、優しい対応をしている姿を多く見る。
- ベルマークも大変だが、学校の備品が充実するので、今後も続けてもらいたい。
- ホームページのブログは、学校の様子が分かって助かっている。
- 親子給食に参加し、学校が子どもたちのために、あらゆる機会を無駄なく活用していることが分かり感動した。
- すれ違ふと、必ず挨拶をしてくれる子がいる。さわやかな気持ちになる。
- 熱中症対策や防寒対策等、時代に添った対応を柔軟にしている点が素晴らしい。
- 5年生の「菌ちゃん農法」はとても素晴らしいと思う。
- 学校の環境整備にしっかり取り組んでいると思う。子どもと一緒に、ホームページのブログ（学校メンテナンス）を見ている。
- 先生に相談しやすい雰囲気があり、親としては安心である。
- 楽しいこともそうでないことも色々な経験をする事で子どもは成長すると思っている。その機会を与えてくれていると感じる。
- このようなアンケートを電子化したらよい。→前向きに検討します。校長は、全員のアンケート用紙に全て目を通します。手書きの文字から感情が伝わることも多く、紙媒体の良いところもあります。
- 先生の表情も大切なので、マスクを外して授業をしてほしい。→5類に移行されてから、マスクを外して授業をしている教員は多くなりました。マスクの着脱については、教職員も児童も、個人の判断としております。学校としては、マスク着脱について一切、指示はしておりません。
- 月曜セットにより、月曜日に荷物が集中して、特に小さい子どもは大変だ。体操服などをずらして持って行くことはできないか。→1、2年担任と相談し、対応策を検討してお知らせします。
- 教室にごみ箱が1つしかない。ごみを分別する意識を育てることも大切だ。→本校のごみ処理は、業者委託しており、基本的に三豊市のごみのような分別収集がありません。それで、ごみ箱は教室に1つとなっています。しかし、ご指摘のようにごみの分別の意識を育てることも大切ですので、分別ごみ箱の設置について検討いたします。
- 登校時と下校時の気温差が大きい時の服装に困る。長袖のセーターやカーディガンでの登校はできないか。→本校は、夏の熱中症対策期（7～10月頃）、冬の寒さ対策期（12月～3月頃）を設定していますし、年間を通して更衣の時期は指定しておりません。例えば、朝は、上着で登校し、下校時は、上着をランドセルか手提げに収納し、半袖シャツで帰るということもできます。長袖のセーターは、標準服を着てもなお寒い場合に、中に着るということになっておりますので、標準服を着用いただき、それでも寒い場合は中に着用をお願いします。限られた期間だけだと思いますので、ご理解ご協力をお願いします。名札に関しては、付け替えができるようにしていただけるとありがたいです。
- 挨拶をしない子どもが多い。交通指導をしても下を向いている。→学校でも年間を通じて「挨拶運動」に取り組んでいます。校内だけではなく地域の方々に挨拶をする取組も行っています。今後も継続してまいりますので、家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。
- すれ違って挨拶をしない先生がいる。子どもに挨拶と言うならまずは先生がしなければと思う。→全くおっしゃるとおりです。本校の教職員に指導を徹底します。
- 学校での体操服等の登校開始時期をもっと早くしてほしい。→以前は暑い中で運動会の練習を開始する9月からの対応でした。もっと早めてほしいという意見があり、気温が連日30度を超える時期、

梅雨明け時期を目途に、現在は7月を目途に早めております。今後も気温の状況等を見て適切に判断してまいります。

- 習字の時間にスモッグや色の濃いエプロンを着用するよう勧めていただきたい。→毛筆の始まる3年生の最初にお知らせし、常に児童にも勧めています。頻繁に服を汚している場合などは、担任に個別に相談ください。
- 宿題を減らしてほしい。また、宿題のない日を作ってほしい。→家庭での学習習慣を定着するために、ある程度の宿題は必要だと考えて出すようにしています。それぞれの家庭の考え方（宿題をもっと多くしてほしいという要望も結構あります）も、個人差もありますので、ぜひ担任にご相談ください。
- 茶髪・髪型に関しては、学校の回答はいつも「保護者に委ねる」だがそれいいのか。→保護者の管理・指導が必要な小学生の段階では、学校のきまり（校則）にない部分については、「保護者の責任で指導いただく」というのが原則です。校則を見直していこうという時代ですので、今後は、この点について、教育委員会や校長会にも相談してまいります。
- 「いきいきウィーク」のゲームの時間得点を、もう少し小刻みにしてほしい。→検討します。
- 水泳カードの記入がなければプールに入れませんが、仕事で忙しい時に忘れてしまうこともある。水泳ができない場合のみ記入する等、ぜひ検討してほしい。→体調が良くないのにプールに入ることは命に関わることで、学校としては、ご面倒でも、毎回のチェックを求めているわけです。来年度に向けて、オンラインチェックの可能性も含め、対策は検討させていただきます。
- 体育の着替えが男女一緒に教室というのは何とかならないか。→本年度の2学期から5・6年生の、また来年度から、3・4年生の着替え場所を男女別に設定するよう検討しています。
- アンケートを書いても返事がない。→全保護者からのアンケートを取りまとめてから、校長が全てのアンケートを読み、学校として回答が必要と判断した内容については、学校便りにて回答するようにしています。提出から回答をお返りするまでに時間がかかってしまい申し訳ありません。
- 協力指導、少人数指導については、どういうことか分からない。→協力指導というのは、2人（2人以上の場合もある）の教員が同じ教室で授業を指導することで、少人数指導は、2つの教室に1クラスを分けて別々に指導することです。本年度は、少人数指導は、ほとんど行っておりません。また、複数の教員の指導が十分機能していないというご意見もありましたので、役割等を確認し効果が上がる指導をしていくよう努力してまいります。
- 暑い時期に（熱中症対策実施前）子どもはズボンの中にシャツを入れるよう指導している教員が、軽装でしかもシャツを出している。→社会人としての時と場に応じた服装について全教職員に指導しました。休み時間もずっと児童とともにいる教員や体育専科の教員もいますので、こまめに着替えをすることは実質難しいです。児童に指導する以上、可能な範囲で服装を整えるよう指導してまいります。
- 正門の東側の細道で児童を降ろしている保護者がいる。危険だし交通妨害になっている。→何度も学校からお願いしています。警察からも何度も指導されます。注意喚起の掲示を設置します。また、この紙面を借りて、心当たりのある方は、直ちにおやめくださるようお願いいたします。
- 教員の退勤後、正門を開けたままにしている。→3年前から、児童の安全を最優先する観点から、児童が校内にいる場合（キッズの児童も含む：土曜日）については、正門は必ず閉めるように徹底して指導しています。児童が校内でいない場合、夜間や日曜日に関しては、門を開けている場合もあります。登校時は、正門は開けていますが、管理職が正門付近でおります。原則、児童が校内にいる場合は、門は閉めている状態になっています。
- 通学路ではない道を通って帰ったり、飛び出したり、横に並んで歩いたり、石を投げたりしている子どもをよく見かける。→このような情報をいただくたびに、指導しております。今後も指導を続けてまいります。

- 屋島などでの宿泊学習は検討しないのか。→もちろん検討します。今年度は、まだ感染の不安が拭い切れていないこと、屋島では十分な活動が難しいこと、学校泊だと体調が悪くなってもすぐ帰宅した参加できること、校区内に粟島という素晴らしい場所があること、手作りの宿泊学習を楽しみたいこと等の理由で学校泊の1泊2日を決定しました。来年度は、今年度の反省と成果を十分考慮して宿泊先を検討します。
- 受付と表示がある事務室の前に行った際、すぐに対応してもらえなかった。これでは不審者の侵入も防ぐことができない。改善してほしい。→対応が遅れ大変失礼をいたしました。事務担当の職員も電話対応等で対応できない場合もあろうかと思えます。その場合は、すぐ隣の職員室に声をかけてくだされば幸いです。
- 運動会で、隊形移動も見応えがあるが、1人1人がもっと踊っているところを見たい。→このようなご意見があったことを職員間で共有させていただきます。
- 鼓笛をぜひ復活してほしい。→鼓笛をクラブ活動に移行した理由は、以前説明したとおりで、児童や保護者の意見だけで決定したわけではありません。大きな理由は、鼓笛に関しては、児童にも教員にもかなり負担になっているということです。もちろん、鼓笛をしたいという児童に対応するため、多くの学校では鼓笛を廃止していますが、本校はクラブ活動という場を残しました。貴重なご意見をいただいたことは、職員間で共有させていただきます。
- 学校で怪我をした場合、病院に連れていけるかと連絡があるがすぐには行けないこともある。学校で対応はできないのか。→救急搬送等を判断した場合は、学校から救急車を呼び、職員が付き添って病院へ搬送します。保護者には、直接病院に来ていただく場合もあります。首から上の怪我とか、医者に診断いただいた方がいいと判断した場合は、家庭への連絡をさせていただきます。緊急の場合で、すぐには来られない場合は、保護者と相談し学校が病院へ搬送するようにしています。

【PTAに関すること】

- 授業参観は、以前のように、135年、246年と時間を分けて公開してほしい。→PTAでも検討いただきます。ただ、授業参観だけなら可能ですが、講演会や学級PTA等を行う場合は時間的に難しいかもしれません。
- 参観の時、移動するのに混み合うので時間の調節をお願いしたい。→PTAと相談の上、移動時間を考慮して計画を見直します。
- PTA役員数を減らすこと、子ども1人につき1回の役員制度をやめてほしい。→PTAにお伝えします。
- 特別支援学級の学級PTAも行ってほしい。→保護者の意見もお聞きし検討いただくようPTAにお伝えします。
- 日曜参観のDVDは、画面が小さくて見えにくかった。会場が騒がしく集中できなかった。→画面については、今後できるだけ改善します。会場の騒がしさ(参観時の保護者の話し声も)についてはPTAにお伝えし検討いただきます。
- 日曜日の参観を土曜日にしてほしい。→日曜日しか休めない方もいらっしゃるということで年間に1回は日曜参観をするということで行っています。ご意見は、PTAにお伝えします。